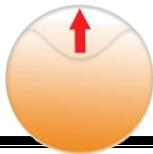
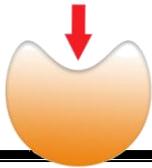


ストレス

レジリエンス



# 乙島っ子

令和5年度 NO. 23

令和5年12月 5日 倉敷市立乙島小学校

## 「レジリエンス」の「お手本みつけ」

人権教育実践資料 8

主体的に安全に生きる  
児童生徒の育成



令和5年3月  
倉敷市教育委員会

「レジリエンス」(Resilience)は、「回復力、反発力、復元力、逆境力」などと訳される言葉で、心理学用語がその元とされていますが、近年のコロナ禍等に見舞われた世の中の状況から、教育界等でも、注目を集めるキーワードとなっています。

倉敷市教育委員会でも、左の人権教育実践資料の中で、レジリエンスを育てる実践に取り組んだ学校を取り上げ、こうした動きを推奨していますが、本校が2学期のテーマとしてきた「お手本をみつける」においても、その「お手本」の大切なものの一つにはまちがないものということで、「3学期のテーマとして考えたい!」と、これも本校が大切にしてきた右に示す「非認知能力」の一つでもあるこの力を、昨日の児童朝礼で、教職員・児童に向け、発信しました。



11月21日、5年生児童が、国土交通省岡山河川事務所の方々をお招きして、恒例(?)となった「治水の取組プレゼン発表会」を行いました。通常であれば、国交省の方々「が」、説明されるであろう内容を、理科学習のまとめとして、国交省の方々「に」、「返礼として」説明するもので、国交省の方々も感心して下さる取組です。あるグループは、練習を重ねてきていたにも関わらず、緊張のためか、結構な時間、スタートにてこずりました。しかし、クラスの友達は、誰一人として急かすことなくそのグループを見守り、見事、練習通りの力を発揮することができました。見ていた筆者は、「この乗り越えた力を、レジリエンスというのですよ」と称揚しました。続けて国交省の方も、「私たちの治水への取組も、困難(災害)を乗り越えようとする取組ですよ」と価値付けてくださいました。12月3日には、県の科学研究発表会で3年生の児童が、「アクのひみつを調べよう」の発表を行いました。

### 灰汁(あく)

- 1 植物を焼いた灰を水に浸し得られた上澄み液。洗剤・漂白剤、また、染色などに用いる。
- 2 山菜や野草に含まれる、渋み・えぐみなどのもとになる成分。
- 3 肉などを煮たとき、煮汁の表面に浮き出る白く濁ったもの。

